


ひと組でも多くのペア誕生のために、みなさまの応援を！アイメイトを支えるボランティア

ご自身のスタイルに
適したボランティアで、
ご参加ください。




リタイア犬奉仕

アイメイトを引退したリタイア犬を引き取り、最期のときまで家族の一員として暮らします。健康で長生きとの便りもたくさん届いています。




飼育奉仕

生後約2カ月の子犬を預かり、成犬になるまでの約1年間、家族の一員として生活をともにします。将来、育てた犬がアイメイトになったときの感動は、言葉にできないほどです。




アイメイト後援会

協会と使用者をサポートするボランティア組織です。アイメイト使用者の道案内などの誘導サポート、募金箱の設置、チャリティーグッズの販売、啓発活動などを行っています。



不適格犬奉仕

残念ながらアイメイトに向かない犬もありますが、ペットとしては素晴らしい仲間です。たいへんな人気で、希望者が順番待ちとなっていることが多いボランティアです。




繁殖奉仕

素質と血統のすぐれた繁殖犬を預かり、誕生のすべてを見守ります。そして、生後2カ月まで子犬を育てます。
※現在、繁殖奉仕者の募集はしていません。

サポート会員

サポート会員になることで、アイメイトの育成・協会運営に協力できます。個人会員の年会費は、1口5,000円(何口でも可)。
詳しくは、アイメイト協会のホームページで。
(<http://www.eyemate.org/>)



日本全国で活躍する盲導犬、アイメイト協会の実働数が今年も最多

現在、日本には、アイメイト協会を含めて計10の独立した団体が、それぞれの考えのもと、視覚障害者への歩行指導や犬の訓練を行っています。それらの実働数や育成頭数のデータは、毎年1回、社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会がまとめて発表しています。

■ アイメイト・盲導犬の実働数 2011年3月31日現在

団体名	実働数	比率
公財)アイメイト協会	312	29.3%
公財)日本盲導犬協会	211	19.8%
社福)日本ライトハウス	184	17.3%
公財)北海道盲導犬協会	106	10.0%
公財)関西盲導犬協会	88	8.3%
財)中部盲導犬協会	58	5.5%
公財)九州盲導犬協会	54	5.1%
公財)東日本盲導犬協会	33	3.1%
社福)兵庫盲導犬協会	20	1.9%
公財)日本補助犬協会	1	0.1%

(比率は小数点第2位以下切り上げ)



日本の現役ペアの約 $\frac{1}{3}$ は公財)アイメイト協会の出身です

I Love EYEMATE!

なぜ、「アイメイト」と呼ぶの？

アイメイト協会出身の犬は、「盲導犬」ではなく「アイメイト」と呼びます。「盲導犬」という言葉からは、「利口な犬が盲人を導いている」と受け取られがちですが、実際は、十分に歩行指導を受けた視覚障害者からの指示を受け、人と犬が協同で移動を実現するのです。もちろん、その主体はあくまでも人にあります。
アイメイト協会では、「私の愛する目の仲間」という意味を含め「アイメイト」と呼んでいます。



わが国一の歴史と実績 公益財団法人アイメイト協会
<http://www.eyemate.org/>
 〒177-0051 東京都練馬区関町北5-8-7
 Tel.03-3920-6162

アイメイト後援会
<http://www.eyemate-support.org/>



公財)アイメイト協会は日本の盲導犬事業の先駆者で、日本最大の実績を上げている協会です。創設者塩屋賢一(しおやけんいち)により、1957年に国産第一号の盲導犬「チャンピイ」を送り出しました。日本の盲導犬事業が産声を上げた瞬間です。これまでに、1,155組以上のペアが卒業しています(2011年6月現在)。現在、国内で犬の訓練や歩行指導を行っているのは、計10法人。各法人にはそれぞれ独自の育成方針があり、指導法、訓練内容などを工夫しています。